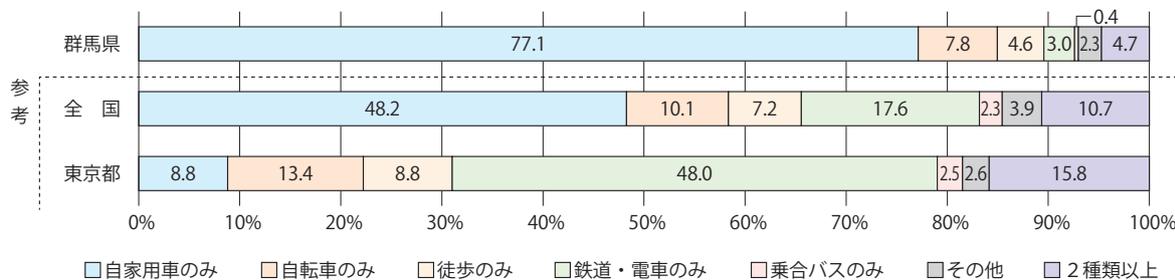


群馬県民の通勤・通学等の交通手段

～自家用車の利用が大半を占める～

- 2020年の国勢調査によると、15歳以上の群馬県民が通勤・通学で利用している交通手段は、「自家用車のみ」が77.1%と大半を占めた（図表1）。「自転車のみ」「徒歩のみ」に加えて、「鉄道・電車のみ」「乗合バスのみ」の利用はわずかであった。
- 全国と比較しても、「自家用車のみ」の割合が高く、「自転車のみ」「徒歩のみ」「鉄道・電車のみ」「乗合バスのみ」の割合が低い。とくに東京都と比較すると、この違いが顕著であった。
- 都道府県別にみると、群馬県は、「自家用車のみ」を利用している人の割合が全国で6番目に高い（図表2）。一方、「徒歩のみ」が46位に留まり、「乗合バスのみ」が全国で最下位となっている。
- 「群馬県民は近距離の移動でも車を利用し、都会の人に比べ足腰が弱い」という声を耳にする。通勤・通学の距離や場所などを考慮し、可能であれば、健康増進やCO₂排出量削減のために、歩いたり、自転車、鉄道・電車、乗合バスを利用したりしてはいかがだろうか。

図表1 通勤・通学の利用交通手段



注：「その他」には「勤め先・学校のバス」「ハイター・タクシー」「オートバイ」を含む。
四捨五入の関係で、合計が100にならない場合がある。
資料：総務省「令和2年国勢調査」をもとに当研究所で作成。以下同じ。

図表2 都道府県別の通勤・通学の利用交通手段（利用者の割合が高い順）

単位：%

自家用車のみ		自転車のみ		徒歩のみ		鉄道・電車のみ		乗合バスのみ	
1	山形県 80.6	1	大阪府 21.1	1	長崎県 11.5	1	東京都 48.0	1	長崎県 10.1
2	秋田県 79.6	2	京都府 15.5	2	北海道 11.5	2	神奈川県 35.8	2	福岡県 5.5
3	富山県 79.5	3	愛媛県 14.5	3	沖縄県 9.6	3	大阪府 30.9	3	広島県 4.6
4	福井県 78.1	：	：	4	東京都 8.8	：	：	4	沖縄県 4.4
5	福島県 77.4	24	大分県 7.9	5	京都府 8.7	28	佐賀県 3.1	5	北海道 4.2
6	群馬県 77.1	25	群馬県 7.8	：	：	29	群馬県 3.0	：	：
7	島根県 76.7	26	栃木県 7.8	43	三重県 4.9	30	山口県 2.9	43	山形県 0.7
：	：	：	：	44	茨城県 4.7	：	：	44	和歌山県 0.7
45	大阪府 19.3	45	新潟県 4.9	45	徳島県 4.7	45	青森県 1.4	45	山梨県 0.6
46	神奈川県 19.0	46	沖縄県 2.9	46	群馬県 4.6	46	島根県 1.1	46	香川県 0.6
47	東京都 8.8	47	長崎県 2.5	47	栃木県 4.4	47	宮崎県 1.0	47	群馬県 0.4

【一口メモ】

本稿で取り上げたデータは、総務省が実施した国勢調査のうち、「15歳以上の通勤者・通学者の利用交通手段」を集計したものである。国勢調査は全数調査であるため、高い精度を持つとともに、社会経済の実態把握のために役立つ。

(担当：井草祐美)